工作を始める前に

・工作に関しては鋭利な工具なども使用しますので、怪我のないよう充分注意して作業してください。

部材が揃っているかご確認ください

❶ **前板 ×2 枚**（18mm オーク（楢）無垢材）
❷ **背板 ×2 枚**（18mm 赤松集成材）
❸ **側板（線あり）×4 枚**（18mm 赤松集成材）
※写真は試作品のためガイドが表示されていませんが、
実物には片面に板材設置のためのガイドが記されています。

❹ **中板 ×2 枚**（18mm 赤松集成材）※丸穴加工済み
❺ **天板 または 底板 ×4 枚**（18mm 赤松集成材）
❻ **補強板 ×2 枚**（シナベニア）※丸穴加工済み
❼ **バスレフポート（紙管）**
❽ **内部配線ケーブル**（端子接続済み）**×2 本**
❾ **ターミナル × 赤・黒各 2 本**
❿ **吸音材**（天然サーモウール）**×1 枚**

下記のものはお客様自身にてご用意ください

・**スピーカーユニット**「**OM-OF101**」（別売り）
・**定規**　・**はさみ**　・**木工用ボンド**　・**ペンチ**（任意）　・**プラスドライバー**
・はみ出たボンドを拭き取るための**濡れ雑巾**
・組み立てた部材を固定させるための**ハタガネ**（数本）・**重し**（任意）

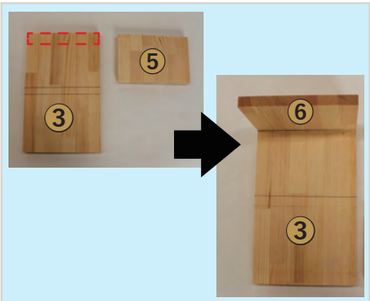
※**スピーカーユニット**は、stereo 編 ONTOMO MOOK
「**これならできる特選スピーカーユニット 2021 年版**
オンキヨー編」**特別付録 OM-OF101** をご用意ください。

フロントバッフルは、かたいナラの無垢材を使用しています。電動ドライバーがあると比較的容易に加工ができるため、お勧めです。

工作手順

・この手順通りに進めなくても作成することはできます。作りやすい手順で進めてください。
・ボンドは指で薄く延ばしながら接着することをおすすめします。はみ出したボンドは濡れ雑巾で素早く拭き取ってください。

[1] **バスレフポート❼**にボンドを塗り、**前板❶** のザグリ部分に接着する。



[2] **天板❺** の接着部にボンドを塗り、**側板❸** の上部に接着する。

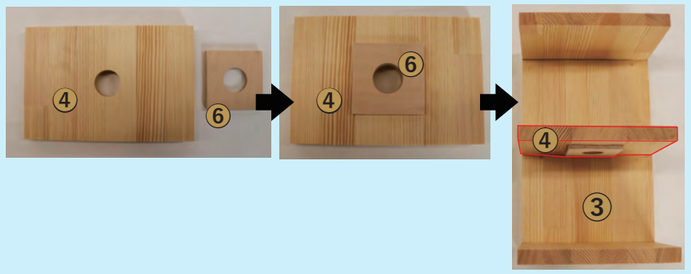
[3] **底板❺** の接着部にボンドを塗り、**側板❸** の底部に接着する。

ダブルバスレフ方式で組み立てる場合は
手順［3］から［4］へお進みください

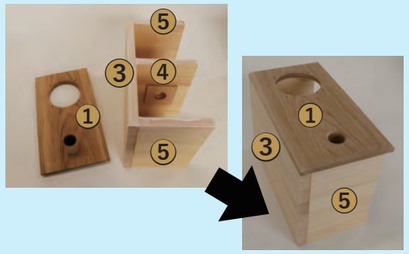
ダブルバスレフ方式
で組み立てる場合

シングルバスレフ方式
で組み立てる場合

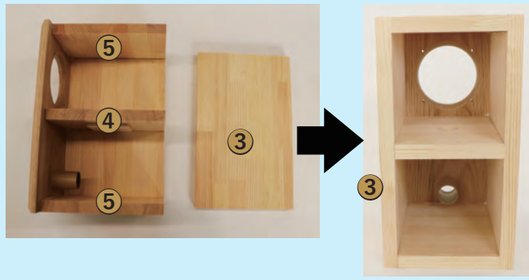
本商品はダブルバスレフ方式での組み立てを想定して設計されていますが、
シングルバスレフ方式で組み立てることもできます。
シングルバスレフ方式で組み立てる場合は手順［3］から［5］へお進みください。
その際、ダブルバスレフ用の板番号④は必要ありません。



[4] **補強板❻** の接着部にボンドを塗り、**中板❹** の丸穴に合わせて接着する。さらに**側板❸** との接着面にボンドを塗り、**側板❸** に接着する。



[5] **天板・底板❺**（と、ダブルバスレフ方式で組み立てる場合は**中板❹**）の接着部にボンドを塗り、**前板❶** を接着する。



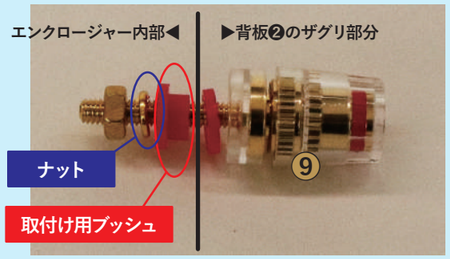
[6] **天板・底板❺**（と、ダブルバスレフ方式で組み立てる場合は**中板❹**）の接着部にボンドを塗り、**側板❸** を接着する。

・ボンドが完全に乾くまで、ハタガネなどで固定させてください。
・重しなどを使うとより効果的です。
・ハタガネなどで固定中にズレが生じないように充分ご注意ください。

[7] ボンドが完全に乾く前に、ズレている箇所があれば調整をする。

▼ 裏面に続きます

[8] **背板❷** のザグリ部分の丸穴に、**ターミナル❾** を設置する。**ターミナル**を設置したら、**背板❷** の裏面で **内部配線❽** の〇形のリングを取付け用ブッシュとナットの間にはめ込み、ナットでしっかりと固定する。



※ラジオペンチなどでしっかりと固定してください。手順［10］で背板をかぶせて接着させる前に、ターミナルを操作してみてしっかりと固定されているかを最終的に確認しておくことをお勧めします。ターミナルが緩い状態だと音道内部で〇型リングとナットが外れ、接着後の修復が困難となる可能性があります。

[9] **吸音材❿**をボンドで右図の位置に接着する。

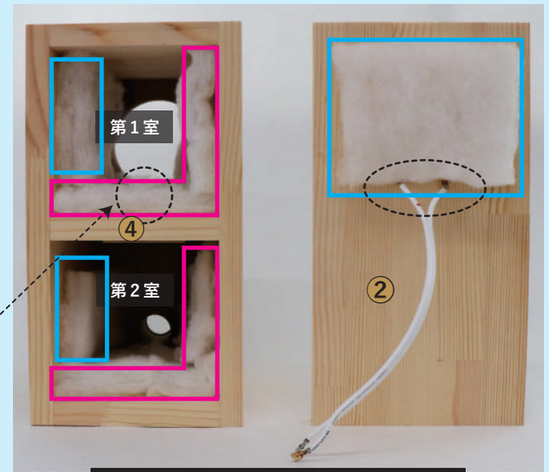
・付属の吸音材は、少し大きめにカットしてあります。仮留め状態にして試聴をしながら、吸音材の量をお好みで調整してください。
・中板❹の第１室（上段）に貼り付ける吸音材［A］は中板❹の丸穴部分を、背板❷に貼り付ける吸音材［B］ではターミナル部分を塞がないようにポート部分を開口させて設置してください。
・吸音材として使用しているサーモウールは天然素材のため、黒い斑点のようなものが含まれていることがありますが品質には問題ありません。

吸音材［A］ 底面・側面用

※第１室（上段）の中板❹の丸穴部分を塞がないように、開口して設置してください

吸音材［B］ 側面・背面用

※背板❷のターミナル部分に触れる場合は切れ目を入れるなどして設置してください



リア（背面）から見た吸音材設置イメージ

[10] **背板❷** を取り付けたら、**内部配線❽** の端子に **スピーカーユニット**（別売り）の端子を差し込み、スピーカーユニット固定用の木ネジで装着する。

・当エンクロージャー対応スピーカーユニットは、stereo 編 ONTOMO MOOK「これならできる特選スピーカーユニット 2021 年版 オンキヨー編」特別付録「**OM-OF101**」（**別売り**）です 。スピーカーの端子の極性は、向かって左が**マイナス**（⊖）、右が**プラス**（＋）です。
・スピーカーユニット固定用の木ネジは、スピーカーユニットに付属しています。
・フロントバッフルは、かたいナラの無垢材を使用しています。電動ドライバーがあると比較的容易に加工ができ、お勧めです。ネジの先でスピーカーのコーンを破損させることがないよう充分注意して作業にあたってください。

stereo ONTOMO Shop

STKT-026

UBUKATA MODEL
― DB-30 ―
組み立てガイド

この度は、stereo× ONTOMO Shop 商品をお買い上げくださり、
誠にありがとうございます。
組み立ての前に、このガイドを必ずご一読くださいますようお願いいたします。

画像はイメージです。
対応スピーカーユニット「OM-OF101」は別売りです

■販売元　株式会社音楽之友社
■お問い合わせ先　株式会社音楽之友社 オンラインショップ「ONTOMO Shop」係
〒162-8716 東京都新宿区神楽坂6-30　電話：03-3235-2090（平日）　https://ontomo-shop.com/

MN-0061
［取説］UBUKATA MODEL ― DB30―
2946000008081